



あおぞら & つくしんぼ

SSKP

つくつく通信

No.99

編集～NPO法人はらっぱ 東京都町田市小川1511 TEL/FAX 042(796)8468

99号になりました。そして……。

この会報誌『つくつく通信』は次号で100号を迎えることになるのですが……。

いろいろ考えた結果、その100号をもって『つくつく通信』を休刊させて頂くことにしました。

「フリースペースつくしんぼ」開設の1996年以来、実に17年もの間、施設の会報誌(紙かな?)として『つくつく通信』を発行し続けてきました。途中で1年間ほど、記事の編集を保護者の手にゆだねたこともありましたが、それを除いた期間の残りすべては、私がほぼ一人で企画・編集・印刷・住所管理・発送・賛助会費管理を担ってきたこととなります。さすがに疲れしました。(^^;;

そして思うのです。『つくつく通信』は、そろそろその役目をもう充分に果たしてくれたんじゃないのかな、って……。

私がこの通信を発行し始めたのは、自主団体に過ぎなかった「フリースペースつくしんぼ」を補助金の受けられる施設にしたかったからです。

通信を毎月発行するたびに「運営費がない! 補助金が欲しい! 賛助会費が欲しい!」という内容の記事ばかり書いていました。

今は、法内事業へと移り、少しですが運営にゆとりも出てきました。

(“ゆとり”)といっても、理事長である私が正式な給与を受けていないゆえの“ゆとり”ですが……)

* * *

もうひとつお伝えすることがあります。認定NPO取得の件です。

このたび『NPO法人はらっぱ』としての認定NPO取得を断念することにしました。

いろいろ調べたり、専門家にも相談した結果です。これまで通りの補助金で運営する福祉施設であれ

ばともかく、法内移行後は福祉の事業所として国保連から給付金を受けている関係上、事業型NPOとみなされ、認定を受けられる可能性が極めて低いことがわかりました。

また、認定取得のメリットは、寄付金控除の税制優遇がある点です。『NPO法人はらっぱ』の場合、寄付金中心ではなく、給付金中心での運営のため、たとえ認定NPOを取得したところでほとんどメリットがなく、かえって経理事務作業が増えるだけで、デメリットの方が大きいことも判明しました。

昨年度から、認定条件をクリアするべく、会費を2000円からわざわざ3000円に値上げさせて頂き、「2年連続で100人以上からの3000円以上の寄付を頂く」という認定基準目標になんとか達成することも出来たのですが……。

すみません。勉強不足でした。

でもこれで、またひとつ重荷を降ろすことが出来るような気がしています。だって、これからは無理して頑張っても寄付金(サポーター会費)を集めなくて済むわけなのですから。

* * *

この際なので、来年度からの『NPO法人はらっぱ』としての寄付金(サポーター会費)のお願いおよび受け取りを中止させて頂くことにしました。

通信の発行をやめるのに、会費を受け取るわけにもいきません。実のところ、サポーター会員のほとんどが、つくしんぼというより、私と個人的に縁がある方ばかりだったりしているので、受け取らないで済む方が気持ち的に楽になれるのです。(^^;;

紙面が尽きてしまいました。この話の続きは次号の最終100号にて……。m(__)m

(NPO 理事長 山下久仁明)

あおぞらのページ

7月から本格的にスタートしたあおぞらは、早いもので半年近く経過してしまいました。

ご利用頂いている子どもたちも次第に増えてきていて、毎日にぎやかに過ごしています。

あおぞらでは、開所時間の約4時間のうち、ご希望頂いたご家族のお子様たちに、毎回1人ずつ約1時間の「勉強」を実施しています。勉強とはABAによるセラピー(応用行動分析療法)のことです。

子どもたちは「おべんきょう」の絵カードを選択して、あおぞらからすぐ近くのアパートの一室にセラピストと一緒に移動します。登所してすぐにセラピーが始まったり、遊んでいる途中からセラピーになったり、お弁当の後にセラピー……と、その日の利用メンバーによって順番が変わります。たまに、1人ではなく、2人でセラピーということもあり……。

保育士の「スケジュールをチェックするよ」という声掛けで、スケジュールボードに向かうことは子どもたちにとっては不本意であることも多く、「登所してすぐにおべんきょうはイヤ!」、「遊んでいる途中におべんきょうはイヤ!」と言わんばかりに泣いたり、「なんのことやら……」と促されるがままに支度をしていたり……実に様々な反応をしながらセラピーの部屋に移動していきます。

そして、帰ってくるとほとんどの子どもたちが、すっきりした顔で「ただいま」と玄関から入ってきます。まだ小さな子どもが1時間も集中して勉強をしてくる訳ですから、その表情からも子どもたちの充足感を察することが出来ます。



残りの3時間は、基本的には自由遊びですが、子どもに応じた生活支援を行っています。

排泄・衣類の着脱・食

事・支度といった生きていく上で必要になってくる事に関して、積極的に介入をしています。0歳児から5歳児の様々な特性を持った子どもたちなので、まだまだすべてに対応しきれているとは言えない状況なのですが、ご家族の方や関係機関との連携を密に図りつつ、子ども達のよりよい育ちを想像しながら支援しています。



そして、ご家族の方がお迎えにいらっしやると、子どもたちは解放感に満ち溢れた表情を見せてくれます。お子さまの1日に様子などをご家族の方と保育士、セラピストとお話するのですが、この時間が子どもたちにとっては待ちきれず・ウズウズ、ジタバタしています。(笑)

お話が終わるとあおぞらの1日は終わりますが、外で遊んで?遊び直して?いく子どもたちがほとんどです。その間、ご家族の方々が情報共有されていたり、世間話をされていたりしています。送迎にお越し頂いているのは主にお母様方なので、たまに職員も一緒に旦那さんの愚痴なんかも話し合っています。(笑)

まだまだ始動したばかりのあおぞらなので、いろいろなことを試行錯誤しながら運営している状態です。ですが、ご縁のあった子どもたちやご家族の方々はとても良い方ばかりで、こちらが助けて頂いていることも多いように感じます。

予想以上にご利用を希望される方が多く、需要と供給のバランスを欠いてしまっている現況で本当に申し訳ないのですが、まずは7月の1周年を目標に改めて職員一丸となって頑張っていきたいと思えます。今後ともよろしくお願い致します。

(あおぞら施設長 木村好美)

つくしんぼのページ

女の子の土曜活動を始めました

みんなで公共のバス、電車などを利用して「自分のことは自分でやる」を目標に、ボーリング場へ遊びに行ってきました。

お金もどこに入れてよいのかわからない子、すでにわかっている子…それぞれですが、もう少しできるようにならないと…と思ってしまいました。

この時期からでしょうか。「この子たちは自立できるのかなあ」と考えてしまうことが多くなったような気がします。

特に小さい頃からみてきている子はなおさらです。つい母心が出てしまって、注意することが多くなり、子どもたちが最近、私を遠目で見ているような…。

しかし、子どもたちの今後を考えると、つつい黙っていてもいられなくなってしまい…。

ときには鬼(?)にもなって、親離れ、子離れできるように手助けしていきたいと思っています。

最近では午前中の児童発達支援事業あおぞらの子どもたちの方にも関わることがあるのですが、障害のあるなしに関係なく、幼児期～小学生の時期は、その子の人生を揺るがす…といったら大袈裟かも知

れませんが、大切だと実感させられます。

子どもへの接し方やコミュニケーション、いろいろありますが、大人が後先のことを考えて行動し、一生懸命であれば、子どもにも伝わるし、わかってくれるはず……な一て偉そうなことは私には言えないのですが、とりあえず三人の子どもを持つ親としてはどうしてもそう思えるのです。

今からでも遅くはないと思って、これからも子どもたちと関わっていこうと思います。

(つくしんぼ施設長 富樫幸恵)



つれづれ

一歩前進、二歩後退。

✍ 嶋中 和重

人は何か新しいことを発見すると、自分でちょっとでも進歩したかのように、一歩でも成長したような気になってしまう。

果たして前へと進んだのか……。

つくしんぼへ来て、すぐ好きになれたのは男の子達で、なんとか自分でもやっていけるんじゃない

いかなと思った。

ところがしばらくしてそうは簡単ではないなとなった。子ども達の気持ちがあつかめそうになっても、スルッとこの両手からこぼれ落ちてしまう。

そして、やっと少しだけ何かが見えたかなとなったのは、つい最近のこと。やっと仲間になれたかなと思えるようになって、私はまず全てを受け入れよう、いっぱい褒めてあげたい、わかってもらえるまで話し合おうよ、一緒に笑って一緒に泣こう、一緒にドロまみれになっても前へとドロの河を渡っていこう、ドロケイの玉を研ぐように心を育てよう……と。

よろしくをお願いします。

おめでとう。「金のすず賞」入選!! (^o^)v

岡本春希クンの作品「すっごい花火」が、小さな美術展(鈴廣かまぼこ)主催の第15回かまぼこ絵コンクールにおいて、金のすず賞を獲得しました。

かまぼこ絵コンクールとは、その名の通り、かまぼこの板で作品をつくるコンクールです。

応募総数は7626作品。そのうち、ジュニアの部参加は5839作品。そのジュニアの部すべての中での1等賞です。

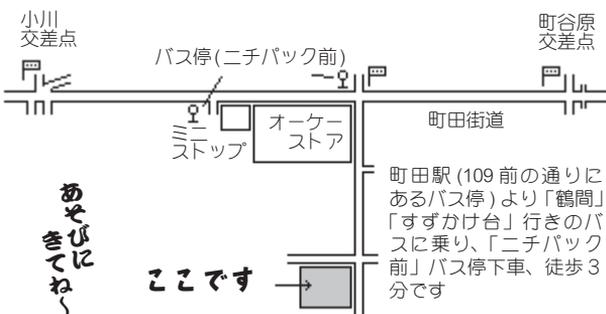
つくしんぼではこのコンクールにずっと参加してきており、ときどき佳作を受けることはありません。でも、1等賞なんてはじめてです。当人の春希クンより、造形担当の高尾先生の方が鼻高々だったりしています。(^^)

作品の展示会は1月31日(木)~2月4日(月)の間、小田急百貨店新宿店で開催されます。賞を逃した(?)つくしんぼのメンバーの作品もずらり並びますので、よろしかったら足をお運びください。m(____)m

はらっばサポーターご支援ありがとうございました(9月~12月)
堀様、阿部様、志岐様、三松様、周東様、長谷川様



♪はらっばの地図♪



東急田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分程です

はらっば(あおぞら&つくしんぼ) サポーターご支援 ありがとうございます

はらっば(あおぞら&つくしんぼ)の前身である「フリースペースつくしんぼ」は、ハンディをもつ子どもたちの遊び場でした。1996年に活動開始。2007年からはNPO法人として運営を続けてきました。

ずっとずっと貧乏所帯だったつくしんぼを18年間も「サポーター」としてのご支援続けてきてくださった皆様、本当にありがとうございました。